

平成 29 年 度

活動状況報告書



公益財団法人三木市スポーツ振興基金

目 次

	ページ
法人のあらまし	1
1 競技力向上のための事業	2
2 選手派遣に対する助成事業	2
3 スポーツ団体の育成事業	6
4 その他目的を達成するために必要な事業	9

資 料

設立趣意書	1 0
定款	1 1
各種大会等に参加する者に対する補助金支給要項	1 8
記録写真	2 0

法人のあらまし

- 1 名 称 公益財団法人三木市スポーツ振興基金
- 2 所 在 地 兵庫県三木市上の丸町１０番３０号
三木市教育委員会事務局 文化スポーツ振興課内
- 3 基本財産 ２００，０００，０００円
- 4 組 織
- | | | |
|-------|---------|---------|
| 評 議 員 | 仲 田 一 彦 | 今 安 孝 次 |
| | 松 井 幸 太 | 富 田 孝 昭 |
| | 前 田 君 司 | 井 上 要 二 |
| 理 事 長 | 松 本 明 紀 | |
| 常務理事 | 西 本 則 彦 | |
| 理 事 | 篠 原 政 次 | 古 田 寛 明 |
| | 岸 本 博 介 | 増 田 純 一 |
| 監 事 | 岡 田 保 | 河 合 敏 郎 |
| 職 員 | 事務局長 | 高 嶋 信 行 |
| | 事業担当 | 山 内 公 博 |
| | 庶務担当 | 五 十 川 諒 |
- 5 事 業
- (1) 競技力向上のための事業
 - (2) 選手派遣に対する助成事業
 - (3) スポーツ団体の育成事業
 - (4) その他目的を達成するために必要な事業

[沿革]

S 60年 4 月 1 日	三木市スポーツ振興基金条例施行
S 61年 4 月25日	岡田金属工業所より 2 億 1 千万円寄贈
S 61年 7 月 1 日	三木市スポーツ振興基金運用委員会の発足
S 61年 9 月 7 日	発足記念スポーツ講演会（プロ野球・鈴木啓示氏）
S 62年 3 月20日	財団法人三木市スポーツ振興基金設立発起人会
S 62年 4 月 1 日	財団法人三木市スポーツ振興基金の発足
H 元年 8 月27日	ビッグスポーツDAYスポーツ講演会（プロ野球・衣笠幸雄氏）
H 3 年12月 7 日	設立 5 周年記念スポーツ講演会（プロ野球・王貞治氏） 法人シンボルマークの決定
H 7 年11月27日	岡田金属工業所より 2 千万円寄贈
H 8 年12月 1 日	設立10周年記念スポーツ講演会（高校駅伝・渡辺公二氏）
H17年10月 7 日	三木市スポーツ振興基金条例廃止に伴う補助金の交付
H18年12月 2 日	設立20周年記念スポーツ講演会（阪神タイガースSD・星野仙一氏）
H24年 2 月25日	設立25周年記念スポーツ講演会（柔道日本代表監督・篠原信一氏）
H24年 4 月 1 日	公益財団法人三木市スポーツ振興基金に移行
H28年 6 月 4 日	設立30周年記念スポーツイベント（元プロテニス選手・松岡修造氏）

1 競技力向上のための事業

トップレベルの競技者を育成するため、トップレベルにある指導者や一流選手を招へいし、直接指導を受けられる講習会を開催した。

種 目	バレーボール		
期 日	平成29年7月30日		
会 場	吉川総合公園文化体育館		
参 加 者	小学生	47名	
	中学生	50名	
	指導者	38名	計135名
講 師 等	富士通テン女子バレーボール部 竹口和三監督、選手14名		

2 選手派遣に対する助成事業

(1) 対象とする者

三木市在住者、若しくは、市内の中学校・高等学校・大学の在籍者及び兵庫県内の特別支援学校に在籍する市内在住の中学・高校生、又は、市内のスポーツ団体に所属する者

(2) 対象とする大会

県大会（中学生のみ）、近畿大会、全国大会、国際大会

※大学生・社会人は全国大会以上の大会のみ

(3) 補助金助成件数内訳

区 分		小学生	中学生	高校生	大学生社会人	合 計
個 人 競技	件数	7	24	18	6	55
	金額	100,000	554,000	1,160,000	126,000	1,940,000
団 体 競技	件数	0	4	0	1	5
	金額	0	323,000	0	100,000	423,000
合計	件数	7	28	18	7	60
	金額	100,000	877,000	1,160,000	226,000	2,363,000



バレーボール強化練習会

(H29. 7. 30 吉川総合公園文化体育館)

(4) 選手派遣に対する助成事業一覧表

(1) 大会出場補助金一覧表

No.	申請団体名	大会名	交付額 (円)	大会成績
1	兵庫県立三木東高等学校	第50回近畿高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会	89,000	女子 48kg級 第1位 中山 華恵(1年) 記録117kg 48kg級 第6位 小林 明日香(3年) 記録96kg 58kg級 第4位 陰山 麻紀帆(2年) 記録128kg 63kg級 第2位 溝渕 京香(3年) 記録162kg 63kg級 第4位 小坂 真穂(2年) 記録149kg 63kg級 第7位 佐々野かなえ(2年) 記録141kg 学校対抗の部 第2位 得点55点 男子 53kg級 第8位 森 陸人(3年) 記録140kg
2	兵庫県立三木高等学校	第50回近畿高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会	4,000	女子 69kg級 第3位 福田 桃子(2年) 記録131kg
3	兵庫県立三木高等学校	第19回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会	88,000	女子 69kg級 第10位 福田 桃子(2年) 記録145kg 学校対抗の部 第37位 得点1点
4		第17回全日本少年少女空手道選手権大会(全国大会)	21,000	形競技 小畑 彩祐(4年) 2回戦敗退
5	三木市バレーボール協会	平成29年度全日本9人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会	100,000	決勝トーナメント 2回戦 群雄会に敗退(1-2)
6	三木市立自由が丘中学校	平成29年度近畿中学生テニス選手権大会 兼 第44回全国中学生テニス選手権大会近畿地区予選	16,000	個人戦 シングルス 増成拓也(3年) 1回戦敗退 個人戦 シングルス 増成智也(3年) 1回戦敗退 個人戦 ダブルス 増成拓也・増成智也ペア 優勝
7	三木市立吉川中学校	平成29年度全国中学校総合体育大会 第44回全日本中学校陸上競技選手権大会	46,000	男子 800m 予選5位 藤本 陽生(3年) 記録2:01.28 1500m 予選13位 藤本 陽生(3年) 記録4:23.68
8	兵庫県立三木東高等学校	第19回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会	524,000	女子 48kg級 第11位 中山 華恵(1年) 記録115kg 48kg級 失格 小林 明日香(3年) 記録なし 58kg級 第11位 陰山 麻紀帆(2年) 記録131kg 63kg級 第6位 溝渕 京香(3年) 記録151kg 63kg級 第11位 小坂 真穂(2年) 記録142kg 63kg級 第17位 佐々野かなえ(2年) 記録135kg
9	兵庫県立三木北高等学校	第71回近畿高等学校選手権水泳競技大会	20,000	男子 200m平泳ぎ 予選22位 薬師 幸輝(3年) 記録2:22.60 100m平泳ぎ 予選27位 薬師 幸輝(3年) 記録1:06.35
10	三木市立自由が丘中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会テニス競技大会	12,000	個人戦 ダブルス 増成拓也・増成智也ペア 優勝 個人戦 シングルス 増成 拓也(3年) 3位(ベスト4) 個人戦 シングルス 増成 智也(3年) 3位(ベスト4)
11	三木市立自由が丘中学校	第44回全国中学生テニス選手権大会	146,000	個人戦 ダブルス 増成拓也・増成智也ペア ベスト8
12	三木市立三木東中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会 第69回兵庫県中学校陸上競技大会	33,000	男子 共通3000m 予選11位 安藤 優馬(3年) 記録9'19"52 共通三段跳 決勝12位 松本 祐菜(3年) 記録12m17 共通四種競技 決勝8位 松本 祐菜(3年) 記録2366点 1年100m 予選6位 内藤 弓哉(1年) 記録12"74 低学年4×100m 予選5位 記録49"81 赤松 駿、内藤 弓哉、岸江 航大、松本 裕大 女子 共通走高跳 決勝8位 黒田ライアン桜(2年) 記録1m48
13	三木市立三木中学校	平成29年度第61回兵庫県中学校総合体育大会水泳競技大会	6,000	女子 200m個人メドレー 予選18位 福本 陽菜(1年) 記録2:42.39 100mバタフライ 予選23位 福本 陽菜(1年) 記録1:14.18 男子 400m個人メドレー 予選32位 奥野 廉(3年) 記録6:07.37
14	三木市立自由が丘中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会ソフトテニス競技会	12,000	個人戦 ダブルス 七島直希・寺坂颯太ペア 1回戦敗退 個人戦 ダブルス 徳永陽太・中村康太ペア 1回戦敗退
15	兵庫県立三木東高等学校	幸村杯第2回全国高等学校男子なぎなた選手権大会	23,000	男子の部 竹末 琉生(3年) ベスト8 男子の部 吉野 翔貴(2年) ベスト8 男子の部 藤本 稀登(2年) 2回戦敗退
16	三木市立緑が丘中学校	平成29年度第61回兵庫県中学校総合体育大会 第69回兵庫県中学校サッカー競技大会	54,000	1回戦 東谷に敗退
17	三木市立緑が丘中学校	平成29年度第61回兵庫県中学校総合体育大会 第68回兵庫県中学校卓球競技大会	3,000	個人戦 生田 和樹(3年) 1回戦敗退
18	三木市立自由が丘中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会 第68回兵庫県中学校選手権水泳競技大会	27,000	女子 100m平泳ぎ 予選11位 加藤 優佳(3年) 記録1:19.67 200m平泳ぎ 予選13位 加藤 優佳(3年) 記録2:54.50 男子 100mバタフライ 予選11位 縄井 健世(2年) 記録1:02.43 200mバタフライ 予選10位 縄井 健世(2年) 記録2:19.54 4×100mメドレーリレー 予選20位 記録4:49.88 徳平 蒼太、福井 駿太郎、縄井 健世、谷口 夢成
19	三木バドミントン協会	第26回全国小学生バドミントン選手権大会 近畿ブロック予選会	12,000	女子 シングルス 川村 真央(6年) ベスト8 男子 ダブルス 野村 恰太・松尾秋津ペア ベスト8
20	三木市立緑が丘中学校	平成29年度近畿中学校総合体育大会水泳競技大会	4,000	女子 100m平泳ぎ 決勝14位 立山心菜(1年) 記録1:17.35
21	三木市立緑が丘中学校	第68回兵庫県中学校選手権水泳競技大会	12,000	女子 800m自由形 決勝22位 ニノ方陽菜(2年) 記録10:42.85 100m平泳ぎ 決勝2位 立山心菜(1年) 記録1:15.62 200m平泳ぎ 決勝6位 立山心菜(1年) 記録2:48.60 男子 200m自由形 予選26位 田中洋助(2年) 記録2:13.40
22	三木市立自由が丘中学校	平成29年度第66回近畿中学校総合体育大会(テニス)	16,000	個人戦 シングルス 増成 拓也(3年) 第3位 個人戦 シングルス 増成 智也(3年) ベスト16 個人戦 ダブルス 増成拓也・増成智也ペア 優勝
23	三木市立自由が丘中学校	第44回全国中学生テニス選手権大会(追加申請)	18,000	個人戦 ダブルス 増成拓也・増成智也ペア ベスト8

No.	申 請 団 体 名	大 会 名	交 付 額 (円)	大 会 成 績
24	三木市立三木東中学校	第20回兵庫県中学校陸上競技新人大会	42,000	男子 共通走幅跳 上池 悠翔(2年) 記録なし 共通砲丸投 第12位 赤松 駿(2年) 記録9.94 2年1500m 第1位 高田 兼成(2年) 記録4:15.69 2年3000m 第1位 金月 利孔(2年) 記録9:06.80 第25位 加村 蓮(2年) 記録9:43.91 1年100m 予選落選 内藤 弓哉(1年) 記録12.82 女子 共通200m 予選落選 富田 麻利菜(2年) 記録28.07 共通1500m 予選落選 成田 芽生(2年) 記録5:03.77 共通100mH 予選落選 高見 恋桃(2年) 記録16.95 共通走高跳 第8位 黒田ライアン桜(2年) 記録1.45 共通四種競技 第10位 黒田ライアン桜(2年) 記録2:11.3 2年100m 予選落選 富田 麻利菜(2年) 記録13.65 2年800m 予選落選 成田 芽生(2年) 記録2:26.12 1年800m 予選落選 安藤 奈々美(1年) 記録2:33.84
25	兵庫県立三木高等学校	第1回近畿高等学校新人水泳競技大会	23,000	男子 100mバタフライ 予選25位 橋本 凌(2年) 記録1:00.05 女子 100m平泳ぎ 予選17位 磯野 華奈(1年) 記録1:19.47
26	三木市テニス協会	第79回全日本ベテランテニス選手権	16,000	シングルス 加古 潤三郎 1回戦敗退 ダブルス 加古 潤三郎・藤崎 英俊ペア ベスト8
27	三木市立三木東中学校	第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会	35,000	B男子 1500m 予選6位 高田 兼成(2年) 記録4:12.25
28	三木市立緑が丘中学校	第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会	35,000	ABC女子 共通ジャベリックロー 第4位 井澤 実実香(3年) 記録45m57
29	兵庫県立三木北高等学校	第1回近畿高等学校新人水泳競技大会	23,000	男子 100mバタフライ 予選56位 養老 奎二郎(2年) 記録1:03.15 女子 50m平泳ぎ 予選22位 立山 新菜(2年) 記録0:40.57
30	三木市テニス協会	第79回全日本ベテランテニス選手権(追加申請)	4,000	シングルス 加古 潤三郎 1回戦敗退 ダブルス 加古 潤三郎・藤崎 英俊ペア ベスト8
31	兵庫県立三木高等学校	第22回近畿高等学校スポーツライミング大会	45,000	男子 予選5位 藤原 拓海(2年) 予選高度31+ 第5位 藤原 拓海(2年) 決勝高度26 / タイム2:35.00 予選12位 清水 亮太(2年) 高度23 予選25位 岡本 隼弥(2年) 高度14 女子 予選16位 川村 奈央(2年) 高度24
32	三木バドミントン協会	第34回全日本シニアバドミントン選手権大会	69,000	No.47参照
33	兵庫県立三木東高等学校	第1回近畿高等学校新人水泳競技大会	11,000	男子 50m平泳ぎ 第6位 立山 泰雅(1年) 記録30.72
34	三木市立自由が丘中学校	第33回兵庫県中学校ソフトテニス新人大会(女子個人戦)	6,000	個人戦 ダブルス 時枝笑莉・岡田叶ペア 3回戦敗退
35	三木市立自由が丘中学校	第33回兵庫県中学校ソフトテニス新人大会(男子個人戦)	6,000	個人戦 ダブルス 山本真成統・朝日慶次ペア 1回戦敗退
36	三木市立三木東中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会 第32回兵庫県中学校女子駅伝競走大会	120,000	総合13位 三木東(成田-木多-川中-松下-藤井) 45分11秒
37	WINGS	第34回全日本シニアバドミントン選手権大会	11,000	シングルス・ダブルスともに初戦敗退
38	三木市立緑が丘中学校	第33回兵庫県中学校ソフトテニス新人大会(女子団体戦)	24,000	団体戦 ダブルス 2回戦 樋谷に敗退(1-2)
39	三木市立緑が丘中学校	第33回兵庫県中学校ソフトテニス新人大会(女子個人戦)	6,000	個人戦 ダブルス 竹本琴美・南桃加ペア 2回戦敗退
40	三木バドミントン協会	第26回全国小学生バドミントン選手権大会 (都道府県対抗団体戦)	17,000	団体戦 兵庫県 3回戦 埼玉県に敗退(0-2)
41	三木市立三木中学校	第61回兵庫県中学校総合体育大会 第32回兵庫県中学校女子駅伝競走大会	104,000	総合12位 三木(藤田・福永・桑田・友定・秦) 44分47秒
42	三木市立別所中学校	平成29年度 第41回兵庫県中学校体操競技新人大会	3,000	3種総合(跳馬・平均台・ゆか) 第34位 茶家 未空(1年) 25.050
43	兵庫県立三木東高等学校	レディースカップ 第9回全日本女子選抜ウエイトリフティング競技選手権大会	101,000	女子 48kg級 第1位 中山 華恵(1年) 記録126kg 58kg級 第7位 佐々野 かなえ(2年) 記録140kg 63kg級 第7位 溝渕 京香(3年) 記録145kg 63kg級 棄権 小坂 真穂(2年) 直前の故障のため 63kg級 第8位 陰山 麻紀帆(2年) 記録141kg 学校対抗の部 第8位 得点13点
44	兵庫県立三木高等学校	第8回全国高等学校選抜スポーツライミング選手権大会	33,000	男子 予選75位 藤原拓海(2年)
45	三木市立緑が丘中学校	平成29年度 第41回兵庫県中学校体操競技新人大会	3,000	3種総合(跳馬・平均台・ゆか) 第21位 井上 朱里(1年) 29.600
46	WINGS	第34回全日本シニアバドミントン選手権大会(追加申請)	4,000	No.37参照
47	三木バドミントン協会	第34回全日本シニアバドミントン選手権大会(追加申請)	22,000	全員予選敗退
48	白とんぼJr.	第26回全国小学生バドミントン選手権大会	32,000	初戦宮城に1-2で敗退
49	兵庫県立三木高等学校	第22回近畿高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会	11,000	女子 69kg級 第1位 福田 桃子(2年) 記録145kg
50	兵庫県立三木東高等学校	第22回近畿高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会	47,000	女子 48kg級 棄権 中山 華恵(1年) 体調不良のため 58kg級 第2位 佐々野 かなえ(2年) 記録144kg 63kg級 第2位 陰山 麻紀帆(2年) 記録139kg 63kg級 失格 小坂 真穂(2年)
51	白とんぼJr.	第26回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会	5,000	4年女子ダブルス(宮崎・柊屋) 2回戦敗退
52	三木バドミントン協会	第30回近畿小学生バドミントン大会(団体戦)	3,000	団体戦 兵庫A 準優勝
53	兵庫県立三木東高等学校	第30回近畿高等学校なぎなた選手権大会	25,000	個人の部 杉本 知恵(2年) 1回戦 判定負け 演技の部 服部咲希・杉本知恵ペア 3回戦敗退
54	三木市立緑が丘中学校	平成29年度第56回兵庫県中学校卓球新人大会	36,000	団体、個人ダブルスともに初戦敗退
	三木市立緑が丘中学校	平成29年度兵庫県中学校バスケットボール新人大会 第69回兵庫県中学校バスケットボール選抜優勝大会	45,000	男子の部 1回戦 姫路高丘に敗退
	三木市立緑が丘中学校	平成29年度、第28回兵庫県中学校卓球1年生大会	7,000	女子個人の部 3回戦敗退
	兵庫県立三木東高等学校	平成29年度第33回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会	68,000	女子48kg級 第3位 中山華恵(1年) 記録130kg 女子58kg級 第8位 佐々野かなえ(2年) 記録142kg 女子63kg級 第9位 陰山麻紀帆(2年) 記録144kg
	兵庫県立三木東高等学校	平成29年度第13回全国高等学校なぎなた選抜大会	3,000	2回戦敗退
55	兵庫県立三木高等学校	第33回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会	22,000	女子69kg級 第4位 福田桃子(2年) 記録155kg
	計		2,353,000	

(2) 国際大会等へ出場する選手への激励金

No.	氏名	大会名	交付額(円)	大会成績	績
101	三木市立 三木小学校	第33回全国小学生陸上競技交流大会	10,000	5年女子 100m 6位 谷口心音	



全国大会出場選手激励会
(H29.7.19 市役所4F特別会議室)



全国大会出場選手激励会
(H29.7.19 市役所4F特別会議室)

3 スポーツ団体の育成事業

(1) 第31回三木市少年スポーツ大会

ア 目 的 三木市の少年・少女がスポーツを通じ健全な心身の育成と技術の向上を図るとともに選手相互の親睦を目的として行う

イ 期 日 平成29年11月12日（日）、19日（日）、26日（日）
陸上競技の部 6月11日（日）

ウ 会 場 三木山総合公園陸上競技場ほか市内体育施設

エ 主 催 （公財）三木市スポーツ振興基金、三木市教育委員会

オ 主 管 三木市少年スポーツ大会実行委員会

カ 後 援 三木市体育協会、三木市小学校・特別支援学校校長会

キ 対 象 市内の小学生及び市内の教室等に籍を置く小学生

ク 総合開会式

(ア) 日 時 平成29年11月19日（日）午前8時30分

(イ) 会 場 三木山総合公園総合体育館

ケ 種目別会場等

No	競 技 名	会 場	参 加 者
1	野 球	三木山総合公園野球場	5チーム
2	サッカー	男子：三木山総合公園陸上競技場 女子：三木小学校	7チーム 3チーム
3	バレーボール	三木勤労者体育センター	7チーム
4	剣 道	総合体育館 アリーナ	76名
5	柔 道	三木高等学校柔道場	30名
6	空手道	自由が丘公民館	84名
7	バドミントン	三木コミュニティスポーツセンター	23名
8	バスケットボール	自由が丘中学校体育館	10チーム
9	卓 球	総合体育館 体育室	13名
10	水 泳	三木山総合公園屋内プール	130名
11	陸 上	三木総合防災公園第2陸上競技場	261名



陸上競技の部開会式の様子（H29.6.11三木総合防災公園）

コ 種目別結果

種 目		1 位	2 位	3 位	4 位
野球		緑が丘スターズ	別所ファイターズ	くるみビックス	
サッカー	男子	自由が丘サッカークラブ	ジングア三木スポーツクラブ	ボアソルチフットボールクラブ	
	女子	バンテオーラ三木A	バンテオーラ三木B	三木女子サッカークラブ	
バレーボール		平田スポーツ少年団	プチウィナーズ三木	豊地スポーツ少年団	口吉川少女バレー
バスケットボール	男子	三木市ミニバスケットボール教室	SC21 スマイル	多可町ミニバスケットボールスポーツ少年団	ウィズ緑が丘ミニバスケットボールクラブ
	女子	三木市ミニバスケットボール教室	ウィズ緑が丘ミニバスケットボールクラブ	多可町ミニバスケットボールスポーツ少年団	
バドミントン	1部	大久保 薫 白とんぼJr	松岡 汰一 広野	川村 真央 広野	野村 恰太 三木Jr
	2部	宮崎 礼菜 広野	河野 慶 自由が丘東	糺屋 ゆめな 白とんぼJr	松尾 秋津 三木Jr
	3部	中川 英里花 平田	藤原 美羽 三木Jr	磯元 らら 白とんぼJr	芝崎 百奈 緑が丘
	4部	藤井 祥風 自由が丘東	松尾 昊 白とんぼJr	吉田 弥央 広野	松尾 昂 白とんぼJr
剣道	4年生以下(女子)	中張 柚乃	金井 千代里	藤原 一華(3位)	中西 萌絵(3位)
	4年生以下(男子)	倉津 優心	松田 福ノ介	守村 潤(3位)	平野 夢大(3位)
	5・6年生(女子)	小林 奈央	中山 玲奈	磯口 夢桜(3位)	
	5・6年生(男子)	宇賀田 陽大	角石 流侍	森本 隆文(3位)	松井 京楽(3位)
空手道	【組手】幼年の部	財田 惺真 志染	則本 知志 自由が丘	牛尾 颯希 押部	小藤 大瀬 清心
	【組手】小学1・2年の部	岡田 康汰 平田	上山 幸輝 緑が丘	岩本 京介 緑が丘東	今安 凱士 平田
	【組手】小学3・4年男子の部	松浦 展士 広野	横山 達己 緑が丘東	岡本 稟生 広野	田中 那由他 緑が丘
	【組手】小学3・4年女子の部	児玉 彩音 緑が丘	山本 千紗 三樹		
	【組手】小学5・6年男子の部	松浦 拳士 広野	正井 裕貴 広野	今井 将人 緑が丘東	藤原 大和 緑が丘東
	【組手】小学5・6年女子の部	児玉 楓香 緑が丘	河野 寿々 広野		
	【形】幼年の部	牛尾 颯希 押部	財田 惺真 志染	藤川 礼玖斗 三樹	小藤 大瀬 清心
	【形】小学1・2年の部	岡本 零羽 広野	上山 幸輝 緑が丘	山本 晃央 三樹	松永 虎汰郎 緑が丘
	【形】小学3・4年の部	児玉 彩音 緑が丘	山本 千紗 三樹	石井 盛秀 別所	豊福 一葉 山手
	【形】小学5・6年の部	児玉 楓香 緑が丘	堀川 颯一朗 自由が丘	岡本 秀太 広野	山本 千華 三樹
柔道	団 体	緑が丘東小	自由が丘小	志染小	自由が丘東小
	個人1・2年生	中村 友哉 自由が丘	小倉 大駆 自由が丘東	石見 琉絆也 三樹	赤木 湊太 広野
	個人3・4年生	大畑 翔生 自由が丘東	岡村 優磨 志染	小林 海瑛 広野	前田 優音 広野
	個人5・6年生	常深 小鶴 緑が丘東	村山 空翔 自由が丘	磯田 海斗 自由が丘	東藤 琥伯 自由が丘
卓球	男子低学年	吉岡 佳太 三木			
	男子高学年	丸橋 倫也 自由が丘	那須 大梧 自由が丘東	野村 有希 青山Jrクラブ	
	女子低学年	樋口 寿音 みつきいJrクラブ	樋口 寿乃 みつきいJrクラブ	柳田 幸来 みつきいJrクラブ	
	女子高学年	柳田 愛結 青山Jrクラブ	那須 風花 自由が丘東	井上 和奏 緑が丘東	

種 目				1 位		2 位		3 位		
水泳	4 年生以下	自由形	男	谷口 花丸	(自由小)	木多 大鼓	(三木SS)	吉田 隼	(三木SS)	
		25m	女	藤田 陽菜	(広野小)	若尾 凧紗	(三木SS)	三輪 莉愛	(三木SS)	
		平 泳	男	栗城 開人	(三木SS)	門 禅二	(三木SS)	大東 颯	(三木SS)	
		25m	女	屋敷 萌子	(三木SS)	中井 香帆	(三木SS)	三輪 莉愛	(三木SS)	
		背 泳	男	谷口 花丸	(自由小)	木多 大鼓	(三木SS)	大東 颯	(三木SS)	
		25m	女	藤田 陽菜	(広野小)	中井 香帆	(三木SS)	三輪 莉愛	(三木SS)	
		バタフライ	男	谷口 花丸	(自由小)	木多 大鼓	(三木SS)	吉田 隼	(三木SS)	
		25m	女	藤田 陽菜	(広野小)	中井 香帆	(三木SS)	若尾 凧紗	(三木SS)	
	5・6 年	自由形	男	門 昊正	(三木SS)	中井 翔太	(三木SS)	米村 蓮	(三木SS)	
		50m	女	大上 美里	(広野小)	村尻 望愛	(三木SS)	谷口 心音	(三木SS)	
		平 泳	男	稲継 純昂	(三木SS)	土出 翔太	(三木SS)	寺尾 範人	(三木SS)	
		50m	女	桑田 彩月	(平田小)	野田 楓	(三木SS)	岩谷 佳歩	(三木SS)	
		背 泳	男	門 昊正	(三木SS)	稲継 純昂	(三木SS)	米村 蓮	(三木SS)	
		50m	女	桑田 彩月	(平田小)	谷口 心音	(三木SS)	野田 楓	(三木SS)	
		バタフライ	男	中井 翔太	(三木SS)	寺尾 範人	(三木SS)	土出 翔太	(三木SS)	
		50m	女	大上 美里	(広野小)	小林 希依	(三木SS)	村尻 望愛	(三木SS)	
陸上	5 年	100m	男	田中 將覇	自由が丘	松村 陽	三木	北井 文博	広野	
			女	村尻 望愛	三木	田中 さら	自由が丘	小林 希依	三木	
			6 年	男	石田 温暉	みなぎ台	小島 健太郎	緑が丘	久保 慶介	三樹
				女	藤井 楓	緑が丘	小泉 さくら	緑が丘東	宮脇 真奈美	三木
	5 年	1500m	男	山崎 健斗	志染	岩崎 有我	緑が丘東	大坪 蒼哉	緑が丘	
				山本 弥輝	自由が丘東	國田 響葵	東吉川	原 睦稀	広野	
	5 年	800m	女	宮家 里奈	緑が丘東	上野 玲	広野	江本 桜	緑が丘東	
				多鹿 蒔	緑が丘	守屋 柚希	広野	森下 詩	自由が丘東	
	5 年	80mH	男	石井 啓秀	別所	井上 裕貴	別所	木下 彪力	別所	
			女	野田 楓	三木	三枝 茉叶	三木	松本 柚花	自由が丘東	
			6 年	男	中井 翔太	三木	溝端 永和	広野	小舟 鳳雅	別所
				女	岡田 彩未	平田	茶家 月美	別所	大西 希乃華	平田
	5 年	走高跳	男							
			女	藤原 萌杏	緑が丘東	武蔵 柚月	緑が丘東			
			6 年	男	門 昊正	三木	古谷 義彦	三木		
				女	中村 悠乃	自由が丘東	楠 望咲	三木	榎本 彩花	緑が丘東
	5 年	走幅跳	男	藤井 翔馬	自由が丘	長谷川 陽大	上吉川	中島 空哉	自由が丘	
			女	上田 咲笑	自由が丘	簾畑 カエラ	東吉川	上田 奈央	みなぎ台	
			6 年	男	中尾 直歩	東吉川	武野 遥音	三木	國嶋 春希	中吉川
				女	西本 望愛	緑が丘	高野 真歩	自由が丘	松永 まなみ	緑が丘東
	5 年	4×100 リレー	男	平田		自由が丘A		広野		
			女	三木A		自由が丘A		広野B		
			6 年	男	三木A		緑が丘		みなぎ台	
				女	緑が丘A		三木		別所A	

(2) スポーツ団体等育成補助

補助金交付団体 陸上競技協会など17団体

4 その他目的を達成するために必要な事業

区分	会 議 等 名 称	場 所	参 加 人 員	内 容
4月21日	事業及び会計監査	市庁舎	監事2名	決算監査
6月5日	理事会	市庁舎	理事6名 監事2名	事業・決算報告、監査報告等
6月26日	評議員会	市庁舎	評議員4名 理事1名	事業・決算報告、監査報告等
7月19日	全国大会出場選手 激励会	市庁舎	理事、監督、選手	全日本少年少女空手道選手権大会出場他
11月7日	少年スポーツ大会 実行委員会	市庁舎	少年スポーツ大会 実行委員	総合開会式役割分担等
12月18日	理事会	市庁舎	理事6名 監事1名	事業経過報告、予算執行状況等
3月23日	理事会	市庁舎	理事6名 監事2名	活動報告、補正予算、次年度計画等



全国大会出場選手激励会
(H29.7.19 市役所4F特別会議室)

財団法人三木市スポーツ振興基金設立趣意書

今日の社会を見ると、平均寿命の延びや青少年の体位向上が見られる中で、栄養の不均衡による肥満、運動不足にともなう体力の低下、複雑な社会環境からくるストレスなどの問題が増加しています。

こうしたことから、健康は自分でつくるものだという姿勢が必要になり、体育・スポーツの価値が見直され、近年、幼児から老人にいたるまで、生涯を通じての生きがいとしてのスポーツ活動が活発に展開されるようになってきました。

スポーツをすることにより健全な体力と精神の育成が培われ、あわせて温かい人間関係をともなう地域社会も生まれてきます。

市としてはこういった社会情勢に対応するためさまざまな施策を展開してきましたが、従来の行政主導の考え方や方法によっては、市民の体育・スポーツに対しての多様化する要望に対応しきれなくなっています。従って行政主導・依存の振興体制から、民間創意の導入が図れる振興体制をつくることが最も望ましいと言えます。

以上から行政と民間が一体となった体育・スポーツの振興組織として、財団法人三木市スポーツ振興基金を設立しようとするものであります。

昭和 6 2 年 3 月 2 6 日

財団法人三木市スポーツ振興基金

設 立 者	三 木 市
上 記 代 表 者	三木市長 大原義治

公益財団法人三木市スポーツ振興基金定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人三木市スポーツ振興基金と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県三木市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、地域住民の間に広く、体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な市民の育成と、明るく豊かな地域社会の建設に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 指導者の育成事業
- (2) 競技力向上（選手強化）のための事業
- (3) 選手派遣に対する助成事業
- (4) スポーツ団体の育成事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、三木市において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長（第20条に規定する理事長をいう。以下同じ。）が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧

に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

（公益目的取得財産残額の算定）

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第4章 評議員

（評議員の定数）

第10条 この法人に評議員6名以上10名以内を置く。

（評議員の選任及び解任）

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

- (1) 各評議員について、次のアからカに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
 - ア 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
 - イ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
 - ウ 当該評議員の使用人
 - エ イ又はウに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの

オ ウ又はエに掲げる者の配偶者

カ イからエまでに掲げる者の3親等内の親族であつて、これらの者と生計を一にするもの

(2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のアからエに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

ア 理事

イ 使用人

ウ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者

エ 次に掲げる団体においてその職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）である者

(7) 国の機関

(イ) 地方公共団体

(ロ) 独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条第1項に規定する独立行政法人

(リ) 国立大学法人法（平成15年法律第112号）第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人

(ハ) 地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第2条第1項に規定する地方独立行政法人

(ニ) 特殊法人（特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法（平成11年法律第91号）第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう。）又は認可法人（特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう。）

（任期）

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

（評議員に対する報酬等）

第13条 評議員に対して、各年度の総額が40万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給する。

第5章 評議員会

（構成）

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

（権限）

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

(1) 理事及び監事並びに評議員の選任及び解任

(2) 理事及び監事の報酬等の額

- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第 16 条 評議員会は、定時評議員会として毎年度 6 月に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第 17 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第 18 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第 20 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、議長及び出席した評議員の中から選出された 2 名が記名押印する。

第 6 章 役員

(役員の設置)

第 20 条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 6 名以上 10 名以内
- (2) 監事 2 名以内

2 理事のうち 1 名を理事長、1 名を常務理事とする。

- 3 前項の理事長をもって一般法人法上の代表理事とし、常務理事をもって一般法人法第 197 条において準用する一般法人法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

（役員の選任）

第 21 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務及び権限）

第 22 条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を執行する。
- 3 理事長及び常務理事は、毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第 23 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（役員の任期）

第 24 条 理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 3 理事又は監事は、第 20 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

（役員の解任）

第 25 条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

（報酬等）

第 26 条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

第 7 章 理事会

（構成）

第 27 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 28 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第 29 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第 30 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第 197 条において準用する一般法人法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 31 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 32 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第 33 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第 34 条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から 1 箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成 18 年法律第 49 号。以下「認定法」という。）第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第 35 条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第36条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。
五百藏 征幸
今安 孝次
佐藤 由夫
藤田 譲
前田 君司
光川 敏郎
- 4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。
井本 智勢子
澤田 頼男
椿原 豊勝
中嶋 将雄
古田 寛明
松本 明紀
- 5 この法人の最初の理事長は 松本 明紀 、常務理事は 椿原 豊勝 とする。
- 6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。
岡田 保
河合 敏郎

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
有価証券	2億円

各種大会等に参加する者に対する補助金支給要項

(趣旨)

第1条 この要項は、三木市のスポーツを振興するため、全国大会等に参加する者に対し、必要経費相当分の一部を補助するため、必要な事項を定めるものとする。

(対象とするもの)

第2条 対象とするものは、予選大会等で代表権を得た選手で次の各号に掲げるものとする。

(1) 兵庫県の大会等で優秀な成績をあげ、又は兵庫県教育委員会の推薦を受け、兵庫県代表として参加するもので、三木市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の運動部若しくはこれらに所属する者又は三木市在住の小学生、中学生、高校生、特別支援学校生で、市外の学校の運動部若しくはスポーツ団体に所属する者

(2) 兵庫県の大会等で優秀な成績をあげ、兵庫県代表又は近畿代表として参加する三木市内の大学、スポーツ団体若しくはこれらに所属する者又は市内在住で市外の大学、スポーツ団体に所属する者

2 前項に規定するもののほか、全国大会以上の大会に参加する三木市に関係のある者には、別途激励金を支給できるものとする。

(対象とする大会)

第3条 対象とする大会は、次の各号に掲げるものとする。ただし、大学生及び社会人については全国大会以上を対象とし、最も権威のある大会のみとする。

(1) 近畿大会

(2) 全国大会

(3) 国際大会

(補助金等)

第4条 補助金の額は、大会参加に要する旅費、宿泊費等別に規定する基準により、次の補助率を基に算出した額を限度とする。

2 補助率は次の率を基準とする。ただし、予算の範囲内で決定する。

(1) 小学生、中学生、高校生 10分の10

(2) 大学生、社会人 2分の1

3 第3条に規定する大会に参加しなくなった場合は、補助金はすみやかに返還しなければならない。

(補助申請)

第5条 第2条により補助金の支給を受けようとする者(以下「補助対象者」という。)

は、大会参加までに基金に申請書（様式第 1 号）を提出するものとする。

（交付決定）

第 6 条 補助金の交付決定を行った場合、その旨を補助金交付決定通知書（様式第 2 号）により当該申請を行った補助対象者に通知するものとする。

（激励会）

第 7 条 交付決定を受けたものに対し、必要に応じて激励会を開催するものとする。

（実績報告）

第 8 条 補助対象者は、当該補助事業が完了したときは、すみやかに実績報告書（様式第 3 号）を基金に提出しなければならない。

（その他）

第 9 条 この要項に定めのない事項については、別に定める。

附 則

この要項は、昭和 6 2 年 4 月 1 日から施行する。

この要項は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

この要項は、平成 1 9 年 1 1 月 1 5 日から施行する。

この要項は、平成 2 2 年 5 月 1 8 日から施行する。

この要項は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。

この要項は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。

この要項は、平成 2 5 年 1 2 月 1 2 日から施行する。

競技力向上のための事業

バレーボール（吉川総合公園文化体育館）



第 31 回 少年スポーツ大会

陸上（三木総合防災公園第2陸上競技場）



